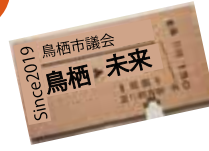


とすきっぷ

To skip!

鳥栖市議会だより
第190号



12
December
令和3年



香楠中学校 石井 優芽さんの作品「蒸気機関車」

各常任委員会で 所管事務調査 を行いました

所管事務調査とは
各常任委員会が自主的にテーマを設定し調査を行うものです。
市政の施策の進捗状況等の確認を行うほか、市政の課題解決に向け、市長等の執行機関に施策の提案などを行います。

総務文教常任委員会

テーマ：新庁舎について

令和元年12月から令和3年11月において、定例議会や臨時議会で、休会中の審査を含めて、13回の所管事務調査を行った。市執行部には、予算やスケジュール関連の資料提出、イメージパース、映像等での説明で、以下のとおり当委員会の所管事務調査に協力していただいた。

- ・令和2年7月臨時議会で新庁舎建設工事の入札を中止したとの報告を受け、入札辞退の原因や今後の対応について質疑を行った。
- ・令和3年2月の委員会で、新庁舎整備事業再公告に向けて、減額に向けた仕様変更の説明を受けた。変更内容は、①最新の見積単価への修正、工法の変更（プレキャスト鉄筋コンクリート造→現場打ちの鉄筋コンクリート造）、②機能、性能に関わらない部分の細かな仕様の見直し（例：建物外装、内装、照明機器、空調機器）であった。加えて今後のスケジュール、財政計画の説明があり、質疑を行った。

- ・令和3年4月の委員会で、再公告に向けた概要説明があり、入札参加要件の変更点や予定価格、入札資格者名簿等について確認を行った。
- ・令和3年6月定例議会において、工事請負契約の締結について委員会議決（可決）をした。その際、契約保証金、工事契約ごとの入札参加者数及び落札率、入札参加が1共同企業体となった理由及び反省点、今後の工事スケジュール、工事期間中における敷地北側通学路の安全対策についての質疑を行った。

【総括と今後について】

令和3年8月19日、新庁舎建設工事の安全祈願祭が開催され、着工の運びとなった。このことは、ひとえに当委員会の調査や審査における助言、監査の成果でもあることと、一定の評価をしたい。

一方、当初令和2年7月に行われる計画だった工事関連の入札辞退による着工の延期は、工事原材料や人件費の高騰、新型コロナウイルス対策費用の追加捻出という不運に見舞われたものの、当委員会としても今後の入札準備等に関わる課題であると考える。

今後も委員会として、一層の調査力、進言力の研鑽に努めていくとともに、市執行部においては、他の入札執行時にも今回の件を生かしていただきたい。



新市庁舎イメージ

建設経済常任委員会

テーマ：道路インフラ整備

（国道・県道・市道等）について

【提言】

市道に関しては、路面等の維持管理だけでなく、拡幅等に積極的に取り組むべきであり、特に通学路については、児童生徒の安全確保の観点から整備を急ぐべきであるため、「鳥栖市地域との協働による安全安心の道づくり事業」の見直しを提案する。

●対象路線

- （現行）区長からの要望
- （見直し提案）通学路点検や各町区からの要望等を踏まえて、小学校区毎に対象箇所を選定

●用地

- （現行）地権者からの寄附
- （見直し提案）買収や奨励金により用地を確保

テーマ：浸水対策（河川・下水道整備、流域対策）について

【提言】

流域治水の考え方に基づいて、全市的に地下浸透や貯留など河川への雨水の流入自体をコントロールすることを長期的な施策の目標とし、全庁的かつ全市民（企業も含む）が取り組むべき施策として構築すべきであり、複数の部署にまたがるため、流域治水の担当を明確にすることが重要である。

- 以下の3項目は市が率先して推進するよう提案する。
- 歩道や側溝等に浸透性の材料を使用する
- 公園や運動場などに雨水貯留浸透施設を導入する
- 公共施設に雨水浸透柵・浸透トレンチ・浸透性舗装を導入する



災害（水害）現場の現地視察

また、市民の皆様に対する取組として、以下の2項目を提案する。

●家庭や企業の雨水浸透枵・浸透トレンチ・浸透性舗装等の導入に対する補助制度を設ける

●大雨が予想される際には、浸水地域以外の市民にも一時的な貯留等の協力をお願いするなど、流域治水に対する市民への啓発を図る

テーマ：人口減少対策（空き家対策、市街化区域等）について

【提言】

危険な道路または接続道路がないことで開発されない用地は今後も残り続けることとなるため、「開発行為に伴う接続道路整備補助事業」の見直しが必要である。

●対象

【土地の所有】（現行）接続道路部分の所有者が開発申請者と同じの場合は補助対象外

（見直し案）開発目的の先行取得のケースもあるので用地費も対象とする

●金額

（現行）舗装5千円/m²・側溝2万円/m
（見直し案）舗装及び側溝 直近の公共単価

厚生常任委員会

テーマ：スポーツ推進の在り方について

【提言】

●スポーツ都市宣言のもと、スポーツを通したまちづくりを進めていくにあたっては、施設の新設（体育館・野球場・運動公園等）または施設整備などを推進する必要がある

●多目的グラウンドの整備に絞り、検討、整備の可能性を調査した結果、本市において必要とされる多目的グラウンドの規模は中学生以上が利用可能な野球2面、サッカー1面程度とする

●「用地の選定や取得、財源の確保など、様々な課題も残されているのが現状であり、そのような課題を一つ一つ解消し、検討を重ねていく必要がある」ことを市執行部と認識を共有した

テーマ：文化振興の在り方について

【提言】

●文化連盟は、市の文化祭をはじめ文化芸術活動の中心的な役割を担ってきたが、近年、加盟団体の高齢化や加盟団体・会員数が減少傾向にあり、担い手の育成が必要である

●市民の文化芸術活動の充実を図るために、市民一人一人が身近なところで文化芸術を知る・触れる・楽しむことができる機会を提供していく必要がある

●鳥栖市民文化会館の老朽化が進行しているためユニバーサルデザインへの対応など計画的な施設の改修が必要である



スポーツ施設の現地視察

当委員会では、今回所管事務調査のテーマとして「スポーツ推進の在り方について」「文化振興の在り方について」と設定し、委員会等を開催してきた。本テーマの現状把握等に関して、市執行部においても真摯に対応いただき、委員会として課題解決に向けた方向性を見出すことができた。今後、本市が掲げるスポーツの推進と文化の振興という目標の実現に向かって進んでいくよう、大いに期待したい。

また、本所管事務調査が、今後の議会においても重要な課題として認識されていくこと、さらに市全体としてスポーツ文化環境整備への機運が高まっていく契機となることを願う。

これから、市政の施策の進捗状況等の確認を行うほか、市政の課題解決に向け、市長等の執行機関に対し、施策の提案などに努めてまいります！

な る ほ ど
DOCUMENT
ドキュメント
9月議会



9月定例会は、9月1日から10月6日まで開かれ、市長提出議案18件、議員提出議案2件の審議のほか、17人の議員が一般質問を行いました。

補正予算は
原案のとおり可決

今回提案された9月補正予算は、自治公民館建設等補助金、防災重点ため池にQRコード付き看板を整備する防災重点ため池整備事業、国土交通省・今町線等の道路改良を行う道路新設改良事業、道路側溝、舗装及び交通安全施設整備事業、大野川等を改修する河川浚渫改良事業、小中学校プール循環ろ過装置改修事業など所要の額が計上されました。

また、新型コロナウイルス感染症に係る事業者支援対策として、事業活動に影響を受けている市内の中小企業者に対する応援金、感染対策に関して県の認証基準を満たした飲食店（認証店）への支援金を給付するための所要の額が計上されました。

9月補正予算に関しては、各常任委員会に付託され、慎重な審査がなされ、全会一致で原案のとおり可決されました。

予算以外では、田代小学校の大規模改造に伴う工事請負契約が可決されたほか、教育委員会委員の選任について同意がなされました。

(16ページ・裏表紙 審議結果参照)

令和2年度
決算議案を認定

決算議案は各常任委員会に付託され、審査が行われました。

各常任委員会での主な審査内容は、5ページから7ページのとおりです。

決算議案は、各常任委員会にて認定、可決された後、本会議でも全額認定、可決されました。



まとめ 一般会計補正予算 **ポイント** 補正予算の主な事業と予算額

10億9千万円
予算総額
298億4千万円

小中学校の施設整備道路・河川改良事業
新型コロナウイルス感染症に係る事業者支援対策の経費などが計上されました

■小中学校プール循環ろ過装置改修事業	鳥栖小学校及び基里中学校のプール循環ろ過装置の改修に要する経費	3,000万円
■河川浚渫改良事業	近年の豪雨災害に対し、河川等の改修、浚渫等を行うもの	2,940万円
■道路新設改良事業	国土交通省・今町線及び上天・国道線の道路改良に要する経費	2,680万円
■道路維持・舗装事業	道路施設の維持管理等に要する経費	2,000万円
■交通安全施設整備事業	通学路等の交通安全施設、区画線等の改修に要する経費	1,500万円



白熱した「議論」で 決算を手エツク!

「ギインの視点」で決算をピックアップしてみました★

市から提案された決算に対し、各常任委員会で審査を行いました。事業の成果は市民の思いをかなえているのかなど、さまざまな視点で議論が交わされました。

コロナ禍が税収に与える影響は？

今後の見通しは立てづらいものの、各種事業を滞りなく進めるために、基金の積立ても含め、可能な限り備えております。

問 自主財源比率*が昨年の約60%から40%台となった理由は？

答 1人10万円の個人給付といった、国からの支出金の増加などが大きな要因です。

※自主財源比率…歳入全体に占める自主財源(市税など市が自主的に収入できるお金)の割合のことであり、この割合が高いほど、安定的で自主的な財政運営が可能であるといえます。

問 法人市民税の税収の今後の見通しは？

答 鳥栖市における事業所の職種、形態は様々なことから、コロナ禍により打撃を受ける職種もあれば、影響の少ない職種もあり、今の段階では、今後の推測は難しいと考えます。

新鳥栖駅観光案内所の利用状況は？

年間約3万人以上の方の利用がありましたが、コロナ禍により令和2年度は1万3,000人程度に激減しています。

新鳥栖駅観光案内事業補助金

【事業費：595万円】

問 観光案内所のスペースはJR九州より無償で借りているの？

答 JR九州との定期借地権設定合意書に基づき、年間約9万円の賃料を支払っています。

市設置の防犯カメラの台数は？

鳥栖駅の東西に計16台、市の各施設の監視カメラ等83台の合計99台です。

防犯カメラ保守点検委託

【事業費：23万7,600円】
(鳥栖駅東西の防犯カメラ分)

問 防犯カメラの増設の考えは？

答 基本的な考え方としては市の施設等を管理等するためにカメラを設置しています。現時点では、町なかに監視カメラを設置する考えは持っていません。施設を管理する上で必要な部分、それに付随する様々な活用の仕方については、今後検討していきたいと思っております。

浄化センターの耐水化対策はどのように考えているの？

浄化センターは浸水想定3mから5mの地域に指定されています。令和2年度から耐水化の検討を進め、壁で囲うような対策が最適ではないかと考えています。

浄化センター耐水化対策

問 耐水化対策工事の完了はいつになるの？

答 現在、検討中のため具体的な計画はありませんが、豪雨災害が頻発しているので、速やかに計画等の策定を進めていきたいと考えています。

交通安全対策(道路環境整備など)の要望に対する整備の状況は？

令和2年度分の65件の要望のうち警察管理分等への要望が15件、市の管理・対応分50件、このうち30件については対応が完了しています。

交通安全対策費

【事業費：2,725万9,100円】

問 整備の優先度は？

答 交通安全上の危険性の高い箇所を優先しながら整備を進めています。

西田川関連雨水対策事業でどの程度の降雨量に対応できるの？

1時間の雨量65ミリに対応できるような計画です。

西田川関連雨水対策

問 ボックスカルバート（主に地中に埋設する箱型のコンクリート構造物）を埋設した結果、どの程度雨水の流量が増加するの？

答 雨水路の断面的には3割程度の流量増が見込まれています。しかし、抜本的には下流の西田川の河川整備の進捗が望まれます。

草刈り委託料で市道全体のどの程度を実施しているの？

市道全体の約633kmのうち、委託として実施しているのが40km程度です。

草刈り委託料

【事業費：1,344万7,520円】

問 地元委託も高齢化等で対応が困難になっている。今後についてどのように考えるの？

答 新たな担い手を確保するとともに、防草シートの設置やコンクリートの打設等により、雑草の繁茂を抑える対策を一部で実施しています。様々な取組により、草刈り作業の負担を減らす必要があると考えています。

保育所の入所待ち児童の現状は？

令和2年4月1日時点で79名、令和3年4月1日時点では81名です。

問 入所待ちになっている原因は？

答 保育士不足が一番の原因です。保育士の勤務の募集等も行っていますが、勤務時間が合わない、扶養の範囲内で勤めたいとの声が多くあり、なかなか園の希望するフルタイム就労の保育士さんの確保等、マッチングができておらず、保育士の確保ができていない状況です。

問 入所待ち児童の数字の分析はどうなっているの？

答 保育所は2,212名分の定員枠がありますが、令和3年4月からの入所申し込み者数は1,964人ということで、定員の数からいけば余っている状況ですが、定員が余っているのは3、4、5歳部分となっています。

問 保育士の確保のために、大学との連携や独自の助成が必要なのは？

答 近隣の市や町でもいろいろな手立てをされているとのことですので、どのような手立てで保育士確保をされているか十分調査して、鳥栖市バージョンの形でできるように、さらに研究しながらやっていきたいと思っています。



病児・病後児保育の現状は？

病後児保育は1園で実施。病児保育は昨年度から進んでおりません。

問 病後児保育の現状は？

答 市内ではレインボー保育園1園で実施しております。令和2年度はコロナ禍の影響だと思いますが、利用者は8人でした。令和元年度は27人でした。

問 病児保育が進まないのはコロナ禍の影響と聞いたが、コロナ禍が収まれば進展は見込めるの？

答 病児保育の実施へ向けて進めて頂くように、医療機関等と協議を行っていききたいと思います。

問 市として病児保育にどれくらいの思い・必要性を感じているの？

答 医療機関等との協議が進展しなければ、公立保育所での病児保育の必要性も含め、考えていきたいと思います。



ココが聞きたい！一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対し、市政全般にわたり、事務の執行状況、将来に対する方針等についてたずねるものです。



今回は17人の議員が一般質問を行いました。

詳しい内容は、インターネットの録画中継でご覧いただけます。



テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく、市政に関し議員が自由に決め、事前に通告しています。

制限時間は60分

1議員の制限時間は、市執行部からの答弁も含め、60分です。

ホームページに質問項目を掲載

質問項目は、事前にホームページに掲載。議場に傍聴にお越しの際にもお渡します。

問 超高齢社会を迎える中、コンパクトシティ・プラス・ネットワークやスマートウエルネスシティの考え方から、市内路線バスの中心市街地循環線（鳥栖駅⇄市役所⇄新鳥栖駅⇄市民文化会館⇄スタジアム）など、市内路線バス再編の検討を始めてはどうか。

答 路線バスの市内線は、河内線・麓線・弥生が丘循環線があり、令和元年10月から令和2年9月までの利用者は、96,354人で、運行事業者への補助金として2,791万9千円を支出しています。路線バスの市内線の再編となると、路線バスの広域線、ミニバスも



市街地循環線（案）

このほかの質問◆歩きたくなる健康まちづくり／高額席改修でスタジアムの収益UPを

含めました公共交通全体の再編が必要となりますので、次の地域公共交通計画の策定（令和7年度予定）の際等に、運行事業者を始めとした関係機関との協議を行いながら、その必要性や実現可能性についても十分な検討が必要であると考えております。

歩いて暮らせる まちづくり



西依義規議員
新風クラブ



問 市道田代大官町・萱方線の道路拡張事業への地元の期待は大きい。歩道の連続性の改善で通学の児童、生徒の安全確認を図るなど、改善すべきところを改善し、安全対策に努めていただきながら引き続き尽力してもらいたい。昨年12月議会で、事業費ベースで約29%、用地取得は46%の進捗率が答弁されたが、事業が進んでいないのではと感じる。関係者との交渉に時間が必要なことは理解するが、現在の進捗率と事業完了時期について答弁を求めます。

答 現在の事業の進捗としては、事業費ベースで約37%、用

市道田代大官町・萱方線の進捗



小石弘和議員
自民党鳥和会



池の内交差点付近

地取得は約56%となっている。事業の完了時期については、令和4年度を目標としてきたが、地権者と借家人など関係者が多いことや、移転先となる代替地の調整に時間を要していることなどから、現時点では、令和7年度を目標に取り組んでいきたいと考えている。

問

東町・京町間（JR沿い）の道路（長

も関係機関に早期完了を要望します。

答

県によると、沿線には家屋や店舗などが立地しており、移転に時間を要しているが、現在用地取得と道路改良事業を進めているとのこと。本市といたしまして

問

立石・麓駅間は、大型車などがひっきりなしに通っているが、付随する歩道は狭く、通学路でもあることから、早期の整備を望む声が多い。立石までの整備はいつまでかかるのか。地元説明会から20年以上たつと聞くと、なぜこんなに時間を要するのか。

歩道・通学路の整備について



尼寺省悟議員
日本共産党議員団



崎線通線）は、歩道がなく危険な区間で歩道の設置を望む声が多いが、どうか。

答

歩行者などの通行状況を確認するとともに、地元町区や地区交通対策協議会のご意見を伺いながら、必要な交通安全対策を行ってまいりたいと考えています。

このほかの質問◆コロナ対策／新産業集積エリア事業



市民の声、災害対策



飛松妙子議員
公明党



問

難聴児支援としてFM補聴システムを学校備品にできないか？

答

令和2年度から軽度・中度難聴児も購入費用での助成を受けることができるため、学校備品には考えていない。

問

一般野球ができる施設の検討は？

答

さがけいば球場を候補地の1つとして検討していく。

問

8月の大雨により、排水ポンプの停止及び道路冠水した青葉台入口付近・前田町の対策は？

答

排水ポンプは県・国に要望を行った。県・国に対して更なる対策の要望を行い、連携を図りたい。

問

真木町の生活道路

答

この先、道路冠水！ 通行止め



問

への進入防止で通行止め看板にマグネットを追加表記してはどうか？

答

現場の状況に応じた看板に情報を追加するなど改善していく。

問

高田町・安楽寺町に安全・安心な避難場所が必要だ。見解は？

答

自治公民館を一時的な避難場所とすることは有効な手段である。

問

このほかの質問◆放課後児童クラブ

答

8月の豪雨により、停止した国や県の所管する排水ポンプ場の改善及び市の行うべき取組についてお示しください。重ねて、今後の豪雨対策も見込んで、一刻も早い改善整備を求めます。

問

8月の豪雨において、下野排水機場、前川排水機場の排水ポンプが機能停止しました。これについては、国と県に対して、今後の豪雨も鑑みた改善整備の要望書を提出しております。また、市の工事においては、西田川排水区雨水整備事業の完了に向けて、引き続き鋭意取り組んでまいります。

問

②集落の維持、活

①豪雨対策

②集落維持活性化



樋口伸一郎議員
自民党鳥和会



性を図るための「50戸連たん制度」の運用に向けて、手を挙げておられる町区があります。本市の人口政策を考えてみても、ぜひとも前向きに進めるべきではないでしょうか。

答

50戸連たん制度の指定要件の確認や地元との調整がつかれた際には、進めていく予定としております。



8月豪雨による冠水した道路（旭地区）

問 コロナ禍で学級閉鎖や休校になることも想定され、他の自治体ではオンライン授業に取り組んでいる所もある。自治体の対応の差で児童生徒に教育の質の格差が生まれないようにしなければならぬが、本市でのオンライン授業への対応及び教育の質の担保をどのように考えているのか尋ねる。

答 オンライン授業の実施は可能だが職員体制、低中学年への対応、家庭の通信環境等の課題があり、中学生及び高学年はオンライン授業、低中学年は分散登校で対応する予定である。また、家庭の通信環境について

コロナ禍における教育の質



松隈清之議員
自民党鳥和会



も、まず各家庭での整備をお願いし、支援制度等も活用しながら通信環境の整備を進めていきたい。いずれにしても、現在予定している対応で質の担保をしていかなければならないと考えている。

このほかの質問◆窓口業務の民間委託について/デジタル化の推進について

子ども達に多様な学びの場を



牧瀬昭子議員
市民ネット・小さな声の会



問 教育機会確保法の教育現場での周知と現状は？

答 教育機会確保法の基本方針では、不登校児童生徒に対する効果的な支援の推進として、特例校や教育支援センターの設置促進、教育委員会及び学校と民間団体の連携等による支援などが示されています。今後、市内の各校内教育相談研修会等を活用し、教育機会確保法の周知を行うとともに、別室における学校生活支援や訪問支援、タブレットの活用等で個々の不登校児童生徒の状況に応じた必要な支援体制構築に努めて参ります。

問 方針と名称は？

答 学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指し、多様で適切な教育機会の確保について検討していく必要があります。適応指導教室の呼称を教育支援センターとすることににつきましては、今後検討させていただきます。

問 適応指導教室の



適応指導教室 みらい

医療的ケア児の入園について



伊藤克也議員
新風クラブ



問 医療技術の進歩に伴い、日常生活の上で医療的ケアを必要としている子どもの数は全国的に年々増加しており、医療的ケア児の保育ニーズは高まっている。本市でも例外でなく、公立保育園での受け入れ体制を進めていく必要があると考えるが、本市の見解を伺いたい。

答 医療的ケア児の受け入れにつきまは、保育のみならず、医療や保健、障害福祉等との連携を図り、対応できる体制を整える必要があると考えております。今年度は体制整備の第一歩として、医療的ケア児等コーディネート・養成等研修

を職員及び公立保育所保育士が受講予定であり、まもなく施行されます。「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に基づき、保護者が離職せずに子育てができるような保育施設の整備に努めていきたいと考えております。

このほかの質問◆スクールソーシャルワーカーについて



問 小中学校の大規模改修のサイクルを短縮すべきだと思うが、今後のスケジュールはどのようになっているのか。

答 できるだけ早期に実施していきたいと考えております。公共施設等総合管理計画を踏まえ、計画的に取り組んでまいります。

問 その他の学校施設の改修・営繕の要望に対する是非の判断基準は。

答 危険性や学校運営への影響の度合い、改修・営繕に要する時間等を基準として、公共施設等総合管理計画の時期などを総合的に判断し、改修・営繕を行っております。



学校改修と中学校給食

竹下繁己議員
自民党鳥和会

問 中学校給食の食材納入業者は現在1者であるが、今後の選定に関する考え方は。

答 委託業者との連携を図り調理場の体制を整備することも、保護者や学校の意見を伺いながら、小学校給食の運営状況を参考とした地産地消の取組の推進と食材の納入業者の選定について検討してまいりたいと考えております。

問 電子自治会（ホームページやSNSを使った閲覧板の活用など）を現状の紙媒体と併用することについて鳥栖市の支援を問う。

答 議員ご案内のホームページやSNSを活用した電子閲覧板の導入でございますが、閲覧板などの情報伝達方法は自治会の規模や会員の年齢構成、利用希望者の数などによりまして、電子閲覧板を望むところもあると認識しております。

また、スマートフォン利用者にとって閲覧板等の電子化は、情報を迅速かつ確実に届けることができ、後から見直すこともできるほ

そもそも自治会活動とは

指標 自治会会員数を増やす

自治会機能

- ・ 情報伝達 (info)
- ・ 実動 (動員)

IT化により

- ・ 役員・班長業務の低減
- ・ 負担の少ない自治会活動
- ・ 最小の労力で最大の効果
- ・ 幸福感を享受できる地域

か、感染症の拡大防止を図る上においても有効な手段の1つになると考えられます。更に、電子化が地域でお世話をする人の負担軽減につながるのであれば、自治会運営面で効果はあると考えられますので、本市としても手法の研究を進めながら、自治会の方に情報提供を行い、自治会が導入の検討を進めることができるように支援したい。

電子自治会の併用策について

江副康成議員
自民党鳥和会

問 そもそも予算が現状に見合っていないということ。根拠を明確に示さずに、現状に見合った予算を獲得できないのは当然。雑草が繁茂する箇所は毎年およそ決まっ

答 予算は年々増やし、対応しているが、草刈りの要望等の増加や災害への対応を優先したことなどによるものである。

路側帯をはみだして生い茂る雑草

問 市道路肩・のり面等の草刈りで市の対応の遅れが目立つ。生い茂る雑草は美観を損なうだけでなく、車や歩行者の通行の妨げにもなっており、そのまま放置するわけにはいかない。なぜ市の対応は遅れているのか。

答 草刈りが必要となる箇所全体を把握するためには、市内全域の幅広い調査が必要になることから、現状で取り組む考えはありませぬ。

問 このほかの質問◆加齢性難聴者への支援ほかに、例年の実績とやれていない箇所を計すれば最低限必要な事業量も金額も算出できるはず。まずはそこから始めるべきでは。

答 草刈りが必要と

市道の草刈り予算を増やせ

成富牧男議員
日本共産党議員団

問 陽性者や濃厚接触者等の出席停止扱いとなった場合の学びの保障は？

答 タブレット型端末

問 学級閉鎖の判断と感染対策は？

答 陽性者を覚知した時点で当該児童生徒が所属する学級及び部活動等を直ちに一旦閉鎖します。感染対策は、基本的な感染防止策の指導徹底や、毎日の全館消毒、給食時に黙食の指導、感染レベルに応じた学習活動の選定と実施等を行っております。また、早期の発見及び対応が可能で、簡易抗原検査キットが9月中旬に県から各学校に配布されることになりました。

学校のコロナ対策は



池田利幸議員
公明党



末を活用した課題配付と紙媒体のプリントや副教材等を併用して、課題の進捗確認と質問への対応をします。児童生徒が課題に取り組み際の説明は、教科書会社作成の動画等も活用します。また、健康観察を行ったり、その日の出来事を聞いて児童生徒の状況を把握したりするなど、コミュニケーションツールとしての活用も重視しているところです。

問 市は以前から技術者不足と言われているが未だに解決していない。このことから、現在仕事に支障をきたしていることが、しばしば生じているのではないか。今まではどのような状況になっているのか。学校、学生達にとって鳥栖市に魅力がないなら、魅力を今以上にアピールしていく必要がある。そのために各学校に営業活動、学生達への講演など積極的に行っていくべきではないだろうか。

答 現在、鳥栖市の魅力をアピールするために、ツイッターや公式LINEアカウント等SNSを活用し、周知に努めています。

問 市は以前から技術者不足と言われているが未だに解決していない。このことから、現在仕事に支障をきたしていることが、しばしば生じているのではないか。今まではどのような状況になっているのか。学校、学生達にとって鳥栖市に魅力がないなら、魅力を今以上にアピールしていく必要がある。そのために各学校に営業活動、学生達への講演など積極的に行っていくべきではないだろうか。

答 現在、鳥栖市の魅力をアピールするために、ツイッターや公式LINEアカウント等SNSを活用し、周知に努めています。

市の新規（技術者）採用を問う



内川隆則議員
市民ネット・小さな声の会



また、昨年度から申込方法をWEB申込に統一し、一次試験を全国のテストセンターで受験できる環境づくりに努めています。技術職の確保のために大学等に赴いて鳥栖市役所を紹介し、インターンシップも積極的に受け入れていきます。地元の高校へのリクルート等も含め様々な機会を作っていきたくと考えています。

このほかの質問 ◆コロナ禍問題の解決に向けて

問 ①被災状況・緊急対応・補助金対応②ため池QRコード付き看板③河川浚渫について問う。

答 ①8月11日から②の降雨量は1,000ミリを超え、警戒レベル5を発令。住家被害は床上、床下浸水17件、道路被害が市道と林道42件、前川排水機場・下野排水機場ポンプ停止、下水道マンホールポンプ停止、市道袖比町側道1号線の大規模の面崩壊などがあった。緊急対応としては二次災害防止のため、土のう・ブルーシート対応。人命優先のため、避難先の確保。今後の対応は、測量・ボーリングによる地質

調査などをし、地元要望などを検討しながら、国の補助制度を活用し対応していく。被災規模によっては年度内に完了できない場合があります。②ハザードマップのQRコードが付いた看板をため池周辺に設置します。③河川の浚渫を国、県等と連携し、進めていきます。

このほかの質問 ◆次期リサイクル施設候補地決定/競馬場周辺の野球グラウンドについて

8月豪雨による被災について



藤田昌隆議員
新風クラブ



市道袖比町側道1号線



久保山博幸議員
自民党鳥和会



「君が代」の歌詞理解にむけて

問 国歌「君が代」は恒久的な日本の平和を伝える歌である。国際化した現代だからこそ、日本人としての誇りを持ち、信頼される日本人として成長するためにも国歌を正しく理解し、尊重するよう指導することが大切である。

平成11年施行の国旗国歌法に基づき義務教育において指導されていると思うが、ある調査によると歌詞の意味を間違っている割合は約3割いるとのデータがある。更なる歌詞理解を深めるため、本市独自の取組である教科「日本語」で取り扱うことはできないか？

答 音楽科を中心とし

て、歌詞の意味の指導と歌唱指導を行っていることと、また、社会科や特別活動においても、国歌「君が代」の指導について明記され、それに基づいた指導を行っていることから、現時点では、教科「日本語」で取り扱うことは考えていない。

このほかの質問◆終戦の日について／災害情報収集手段及び現場応急対応について



齊藤正治議員
自民党鳥和会



用途地域の見直しについて

問 乗立交差点から立石交差点まで県道の4車線化が整備されている。沿線の立石町まで市街化区域であるが、住居専用地域であるため住居しか建築できない。準工業地域として見直し変更すれば、住居はもちろん、店舗、事務所、工場などあらゆる建築が可能となる。また、高速道路や新幹線を活用した情報通信産業等生産性の高い企業の誘致が可能となり、雇用も期待できる。鳥栖西部地域の核づくりとして更なる発展に繋がり、新幹線新鳥栖駅の役割もこれまで以上に大きくなり、山浦インターの設置が加速されるものと

確信する。このまま住居専用地域にしているも、住宅建築の場所は限定され、多くの住宅開発は厳しいものと考え。県道整備を活かした準工業地域への変更をしたらいかがか？

答 周辺環境や個人の財産に大きな影響を及ぼすため、川久保鳥栖線の整備状況や他の道路整備等の動向を踏まえ、市全体の都市機能を慎重に判断したい。



中村直人議員
市民ネット・小さな声の会



新幹線長崎ルートについて

問 新幹線長崎ルートについては、令和4年秋ごろ武雄温泉駅～長崎間で開業予定であるが、新鳥栖駅～武雄温泉駅間は、いまだ目途が立っていないのが現状の中、今後の対応についてどう考えているか。約6,200億円かかると言われているフル規格での整備や、新鳥栖駅の分岐駅としての機能が保たれるのか大きな課題が存在するが、どう対応されようとしているか伺いたい。

ていく。財政負担も含めた課題や問題点についても、現在のところ整備方式も含めた詳細が未決定であり、幅広い協議の動向を見守りたい。

答 新鳥栖駅は、九州全域を視野に入れた玄関口であり、活性化する取組と鳥栖を目的地として来ていただける取組を積み上げて



新鳥栖駅

とすきっぷ

「市民との座談会」では、市民の皆さまと市議会とで市政や市議会に関して意見交換を行いました

8月号

とすきっぷ

「表紙：

田代中学校

南島美月さんの作品」

「市民との座談会①

：若手飲食店主 ×

市議会」

9月

本会議一般質問における傍聴者への資料の配布を開始

議員の一般質問予定日の公表を開始

10月

鳥栖市議会災害等対応要綱を策定し、市の対策本部と連携し、市民の安全確保等に資する対応を定める

5月号 とすきっぷ

「表紙：田代中学校 丹治朱莉さんの作品」

「鳥栖市のココに期待しています」企画でノビトワークス、ココママ、しまっとクラブのみなさんへインタビュー

10月

本会議の会期日程をとすきっぷ等で公表開始
所管事務調査テーマをHPで公開

10月

新たな試みとしてオンラインと会場（市役所）による議会報告会&意見交換会「オープンthe 議会」を開催



2月号

とすきっぷ

「表紙：鳥栖西中学校

田中杏さんの作品」

「市民との座談会③：

民生委員さん × 市議会」

2021
(令和3年)

11月号 とすきっぷ

「表紙：鳥栖中学校 網谷花鈴さんの作品」

「市民との座談会②：

鳥栖市へ引っ越してきたお母さん × 市議会」

3月

鳥栖市議会業務継続計画
(議会BCP※)を策定

※BCPとは Business Continuity Planの略。議会BCPは災害など非常事態に、議会の対応などを定めた計画です

これからも開かれた議会に向けて、取り組んでまいります

5月号 とすきっぷ

「表紙：神社に藤」

(基里中学校 竹田陽菜子さん)

「市民との座談会④：福祉・子ども・教育に関わるみなさん × 市議会」

7月

オンライン

議会報告会

「オープンthe 議会 2021」

を開催

7月

議会BCP

に基づいた

防災訓練を

実施

8月号

とすきっぷ

「表紙：山笠」

(鳥栖高校：佐藤真妃さん)

イラスト紹介

本号の表紙イラストは香楠中学校の美術部のみなさんにご協力いただきました。ありがとうございました！



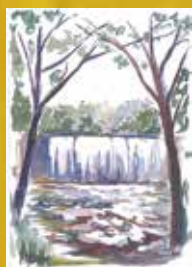
あんどう さくら
安藤咲来さんの作品
「神社」



おた かえて
小田花楓さんの作品
「昔たよう鳥栖駅」



こまつ はるな
小松春菜さんの作品
「咲き誇れ」



とがみ りゅうじ
砥上隆司さんの作品
「四阿屋」



みうら
三浦あやなさんの作品
「大山祇神社の紅葉」



やすなが りお
安永莉緒さんの作品
「鳥栖プレミアムアウトレット」



開かれた議会に向けて

鳥栖市議会の「開かれた議会に向けて」の取組をご紹介します



2019
(令和元年)

5月号 とすきっぷ
「鳥栖市のココに期待しています」企画で若木パーカッション、鳥栖オレンジクラブ、曾根崎町古典芸能保存会のみなさんへインタビュー

8月
鳥栖市議会政策協議会設置要綱を策定し、議員の政策提案などに関する協議方法などを定める

8月号 とすきっぷ
「表紙：新鳥栖駅」（鳥栖高校：矢野日向子さん）
「鳥栖市のココに期待しています」企画で九州龍谷短期大学レクリエーション部・子どもクラブジュニアリーダー、農事組合法人結農の里はる、鳥栖地区小中学校PTA 連合会のみなさんへインタビュー

2020
(令和2年)

2月号
とすきっぷ
「表紙：ステンドグラス」
(鳥栖商業高校：調慈月さん)
「鳥栖市のココに期待しています」企画で新成人のみなさんへインタビュー

4月
傍聴規則を見直し、傍聴者の住所、氏名の記入制、児童・乳幼児の入場許可制を廃止

とすきっぷ
「鳥栖市のココに期待しています」では、様々な方から鳥栖市への要望等をお聞きしました

11月
鳥栖市議会基本条例の各条文に対する取組の検証を実施
取組状況、評価、今後の取組方針を確認

11月号
とすきっぷ
「表紙：基板」
(鳥栖工業高校：牛島香喜さん)
「鳥栖市のココに期待しています」企画で弥生が丘地区地域交流グラウンドゴルフ、さくらんぼクラブ、あさひキッチンのみなさんへインタビュー

議員提案
条例

8月
議会報告会&意見交換会「おしゃべりルーム・とす」を開催
(鳥栖・鳥栖北)

9月
鳥栖市議会初となる議員提案の政策条例『共に学び成長する子ども条例』を全会一致で可決

議案の審議結果

今回も
じっくり審議
しました



■全会一致（全員賛成）で可決されたもの

件名	
市長	令和3年度 補正予算 一般会計、特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療）
	令和2年度 決算 特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、産業団地造成）、水道事業会計、下水道事業会計 水道事業剰余金の処分、下水道事業剰余金の処分
提出	市道路線の認定 [認定 12 路線]
	専決処分事項の承認（証明等手数料条例の一部改正） [行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴うもの]
	工事請負契約の締結 [田代小学校の大規模改造に伴い、工事請負契約を締結するもの]
議員提出	教育委員会委員の任命 [佐々木英利氏（神辺町）]
	人権擁護委員候補者の推薦 [久保美根子氏（弥生が丘）]
議員提出	出産育児一時金の増額を求める意見書
	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

■賛否が分かれたもの

提出市長	件名	議員名														議決結果							
		牧瀬昭子	成富牧男	伊藤克也	西依義規	池田利幸	竹下繁己	樋口伸一郎	久保山博幸	江副康成	中川原豊志	内川隆則	中村直人	尼寺省悟	藤田昌隆		飛松妙子	古賀和仁	久保山日出男	齊藤正治	松隈清之	小石弘和	
令和2年度	一般会計決算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○=賛成 ●=反対 ※通常、議長（森山林）は表決には参加しません

議会人事	議会運営委員会において、中川原豊志議員の委員長の辞任に伴い、新しい委員長に伊藤克也議員、副委員長に飛松妙子議員が選出されました。
------	--

意見書	出産育児一時金の増額を求める意見書 提出：自民、公明、基	※国会及び関係行政庁に送付しました
	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 提出：総務文教常任委員会	

陳情	野球競技施設に関する要望書 佐賀県高校野球連盟東部地区 会長 井上健史 他4名
	旭地区水害対策基本整備かわる要望書 旭地区区長会 会長 酒井晴夫

上記の陳情については、各常任委員会で協議が行われました

発行：鳥栖市議会 編集：広報広聴委員会
〒841-8511 佐賀県鳥栖市宿町 1118 番地
TEL 0942-85-3525 FAX 0942-85-3526
e-mail : gikai@city.tosu.lg.jp

あとがき
任期最後の議会も無事終了。この4年間で「市議会だより」は大きくリニューアルしました▼広報広聴委員会では、市民目線の見やすく、わかりやすく、親しみやすい紙面づくりをめざして、愛称も取り入れ「とすきっぷ」と命名。議会側からの一方通行ではなく、市民の声を取り上げ、双方の記事の掲載に努めてきました▼「広報」から「広報広聴」へ、とすきっぷはさらに進化してまいります。
(広報広聴委員 成富牧男)